

1. 広東省

1. 反腐敗にかかる処分

●12日、省人民検察院は本年6月から重大な紀律違反の疑いで調査中だった謝春森・元河源市副市長（副庁長級）を収賄罪で逮捕することを決定したと発表（1月13日付『南方日報』）。

2. 李希・省党書記、馬興瑞・省長が香港六大商会連合訪問団と会談

●先頃、李希・省党書記、馬興瑞・省長が上記訪問団と会談し、次のように述べた。本年は改革開放40周年であり、広東省は第19回党大会の精神、同省に対する習近平・総書記の重要指示の精神を深く貫徹・実行し、開放型経済の新たな体制の構築を加速させ、広東・香港・マカオ・ベイエリアの建設を力強く推進し、同省の改革・発展の新たな局面を絶えず切り開いている。双方は同ベイエリアの建設という重要な歴史的チャンスをつかみ、更にマッチングを強化し、協力を深め、両地域の企業経営により良い発展の環境を作り出し、人々により多くの幸福をもたらしたい（1月8日付『南方日報』）。

3. 第1回広東・香港・マカオ・ベイエリア衛生・健康協力大会の開催

●8日～9日、恵州市で上記大会が開催され、省衛生・計画生育委員会、香港政府食物・衛生局、マカオ政府衛生局が「広東・香港・マカオ・ベイエリア衛生・健康協力枠組み協定」に署名し、同ベイエリアの衛生と健康にかかる事業を共に発展させ、互いの強みをもって補完し合い、その成果をシェアしていくこととなった（1月9日付『南方日報』）。

4. 省党常務委員会議の開催

●9日、李希・省党書記主宰の上記会議で、新たな中央委員、中央候補委員、省・部クラスの主な指導幹部が習近平による新たな時代の中国の特色ある社会主義思想と第19回党大会の精神を学習・貫徹するための研修で、習近平・総書記が述べた重要講話の精神を伝達・学習・貫徹し、広東省がそれを貫徹・実行するための意見について検討した（1月10日付『南方日報』）。

●先頃、李希・省党書記主宰の上記会議で、習近平・総書記が中央政治局民主生活会議で述べた重要講話の精神、中央政治局民主生活会議の精神を伝達・学習・貫徹した（1月13日付『南方日報』）。

5. 国家印刷・ソフトディスプレイ・イノベーションセンターの建設が正式にキックオフ

●9日、広州市で上記センターの建設にかかるキックオフ・ミーティングが開催され、馬興瑞・省長、羅文・工業・情報化部副部長、袁宝成・副省長、温国輝・広州市長が出席するとともに、同センターのプレートが掲げられた（1月10日付『南方日報』）。

6. 広東・マカオ協力合同会議の開催

●10日午後、上記会議が開催され、李希・省党書記、馬興瑞・省長がフェルナンド・ツイ・マカオ長官と会談。馬省長、ツイ長官が同会議を主宰するとともに、基調発言を行なった。双方は「広東・香港・マカオの協力を深め、ベイエリア建設を推進する枠組み協定」を実行するため、6つの点を重点的に強化していくことで合意（1月11日付『南方日報』）。

※重点的に強化する点：①広東・香港・マカオ・ベイエリア内の人・モノ・資金・情報のフローの簡便化・秩序化を促進すること、②珠海市横琴新区・広州市南沙区・中山市翠亨新区・江門大広海灣経済区等、広東とマカオ間の重要なプラットフォームの建設における協力を急いで推進すること、③マカオとポルトガル語圏のつながりや資金の強みを十分に発揮し、マカオが広東省と共に「一帯一路」建設に参加していくこと、④広東・マカオのサービス貿易の自由化、世界的な観光地の構築、産業協力分野の拡大、⑤国際的な科学技術イノベーションセンターの共同構築、⑥青少年交流・環境保護・医療衛生・食品の安全・職業資格の相互承認・年金保障・文化交流・水や電気の供給等、民生・社会分野における協力を推進すること。

7. 馬興瑞・省長が日覚昭広・東レ社長と会見

●10日、上記会見で馬興瑞・省長は次のように述べた。東レには広東省の製造業の基盤の強さ、市場のニーズの大きさという強みを十分に利用していただき、同省の優良企業との産業協力を更に深め、強化し、協力モデルを刷新し、新素材産業を中心とした製造・販売・研究開発拠点を共に構築し、発展のチャンスを共有し、ウィンウィンを実現していきたい（1月11日付『南方日報』）。

8. 広東省の著名企業がCES 2018に出展

●現地時間9日、米ラスベガスでCES 2018が開幕し、世界中から約4500の企業・機関が参加した。TCL、ファーウェイ、スカイワース等、広東省の著名企業も出展。余承東・ファーウェイ・コンシューマー業務CEOがメインフォーラムで基調講演を行うとともに、スマホのMate10 Pro、Mate10 ポルシェ・デザインを発表し、正式に米市場に参入した（1月11日付『南方日報』）。

※CES (Consumer Electronics Show) : CTA (Consumer Technology Association, 米コンシューマー電子貿易協会) が主催する貿易展示会であり、特にコンシューマー電子製品、科学技術関連を集めた展示会。

9. 馬興瑞・省長が省政府弁公庁を視察

●12日、馬興瑞・省長が省政府弁公庁を視察するとともに、習近平による新たな時代の中国の特色ある社会主義思想、第19回党大会の精神を深く学習・貫徹することをテーマとした党課（党が党員等に綱領、規約について教育する授業）を行なった（1月13日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 市党常務委員会議の開催

●8日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、中央農村工作会議、全国組織部長会議、全国宣伝部長会議の精神を伝達・学習し、それを貫徹・実行するための業務を手配（1月9日付『広州日報』）。

2. 広州市工会（労働組合）第18回代表大会の開催

●8日、上記大会が開幕し、任学鋒・市党書記が出席するとともに講話を行い、黄業斌・省人代副主任兼省総工会主席が挨拶を行なった。温国輝・市長、陳建華・市人代主任、劉悦倫・市政協主席も出席。唐航浩・市人代副主任兼市総工会主席が同大会を主宰するとともに業務報告を行なった（1月9日付『広州日報』）。

3. 広州警備区党委員会拡大会議の開催

●先頃、上記会議が開催され、任学鋒・市党書記が出席するとともに講話を行い、習近平による強軍思想を全面的に貫徹し、広州市の国防のための動員、後方の備えの建設における水準を高めるよう推進しなければならないと強調。同市は軍民融合発展戦略を急いで実施し、そのメカニズムを充実させ、船舶製造、航空・宇宙、電子情報、バイオ医薬、新素材等の産業を重点に、同市の特色ある軍民融合産業拠点、軍民融合イノベーションモデル区を建設していくとした（1月10日付『広州日報』）。

4. 市政協第13期第2回会議の開催

●10日午前、上記会議が開幕し、任学鋒・市党書記、温国輝・市長、陳建華・市人代主任が出席し、同会議の開会を祝った。劉悦倫・市政協主席が業務報告を行なった（1月11日付『広州日報』）。

●12日、劉悦倫・市政協主席主宰の各界別委員代表座談会が開催され、任学鋒・市党書記が出席するとともに講話を行なった（1月13日付『広州日報』）。

●12日、劉悦倫・市政協主席主宰の香港・マカオ出身の市政協委員座談会が開催され、温国輝・市長が出席し、意見・提案を聴取し、広州市の発展、広州・香港・マカオの協力の推進について共に検討した。19人の香港・マカオ出身の市政協委員が広東・香港・マカオ・ベイエリア新興金融センターの構築、介護サービスと海浜観光業の発展、イノベーション・科学技術圏の構築、南沙自由貿易港の建設、人材誘致政策の充実等について発言を行い、12人の委員が書面で提案を提出した（1月13日付『広州日報』）。

5. 市人代第15期第3回会議の開催

●11日、陳建華・市人代主任主宰の広州市人代第15期第3回会議が開幕し、温国輝・市長が政府活動報告を行なった。任学鋒・市党書記、劉悦倫・市政協主席等が出席。13日午前、陳主任が市人代業務報告を行なった（1月12日、14日付『広州日報』）。

6. 広州市政府と中国科学院大学が提携

●10日午前、市政府、中国科学院大学、黄埔区政府、天河区政府が枠組み協定に署名し、中国科学院大学広州学院を共に建設していくこととなった。丁仲礼・中国科学院大学総長、温国輝・市長が署名式に立ち会った。同学院は最先端科学技術の研究を行う大学であり、独立地方法人となる（1月11日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 市政府党組織拡大会議の開催

●8日午後、陳如桂・市長主宰の上記会議で、中央農村工作会議、全国貧困救済・開発会議、中央政治局民主生活会議の精神、省党第12期第3回全体会議の精神を伝達・学習し、市政府各部門がそれを貫徹・実行するための措置について検討・手配した（1月9日付『深圳特区報』）。

2. 深圳改革開放展覽館の建設に関する特別会議の開催

●9日、広州市で上記会議が開催され、慎海雄・省宣伝部長が出席するとともに講話を行なった。李小甘・市宣伝部長も出席（1月10日付『深圳特区報』）。

3. 市党常務委員会議の開催

●10日、王偉中・市党書記主宰の上記会議で、新たな中央委員、中央候補委員、省・部クラスの主な指導幹部が習近平による新たな時代の中国の特色ある社会主義思想と第19回党大会の精神を学習・貫徹するための研修で、習近平・総書記が述べた重要講話の精神、全国宣伝部長会議の精神を伝達・学習し、深圳市がそれを貫徹するための意見について検討した。併せて、市人代、市政府、市政協、市裁判所、市検察院党組織の2017年の業務状況に関する報告を聴取（1月11日付『深圳特区報』）。

4. 王偉中・市党書記が楊潔・中国電信集团董事长一行と会談

●10日午前、上記会談で、双方は第19回党大会の精神を深く学習・貫徹し、5G通信等の新世代情報技術、ネットワーク・インフラ、デジタル政府、スマートシティ、情報ネットワーク・セキュリティ等の分野において協力を拡大し、深圳市が質の高い発展を実現し、社会主義の現代化を率先して建設していくよう努めると述べた（1月11日付『深圳特区報』）。

5. BYDとファーウェイが「クラウドレール」の無人運転システムで提携

●10日、BYDとファーウェイが「クラウドレール」（モノレール）の無人運転システムで提携することを合同発表した。このたびのファーウェイとの協力について、王伝福・BYD董事長は、ファーウェイの4.5G軌道交通無線ネットワークは同業界の発展の趨勢を代表しており、「クラウドレール」の発展のニーズに合っていると述べた。銀川市の「クラウドレール」無人運転システムは、2018年第2四半期に試運転を行う予定（1月11日付『深圳特区報』）。